

平成27年度奈良県食品衛生監視指導計画に基づく監視指導結果について

食品衛生法第24条第1項の規定により定めた平成27年度奈良県食品衛生監視指導計画に基づく監視指導の実施結果について下記のとおり概要を取りまとめましたので公表します。なお、本結果の対象は奈良市を除く奈良県内全域で、実施期間は平成27年4月1日から平成28年3月31日までの1年間です。

1 監視指導体制及び監視指導対象施設について

食品衛生法第30条第1項に規定する食品衛生監視員、と畜場法第19条第1項に規定すると畜検査員及び食鳥処理の事業の規定及び食鳥検査に関する法律第39条第1項に規定する食鳥検査員の任命・指定状況については、表1のとおりです。また、食品に係る試験検査体制の状況及び各保健所別監視指導対象施設の状況については、表2及び表3のとおりです。

表1 食品衛生監視員・と畜検査員・食鳥検査員の配置状況

実施機関	担当課	担当係	食品衛生監視員	食鳥検査員	と畜検査員
郡山保健所	衛生課	食品衛生係 獣疫衛生係	10名 (内5名兼務)	2名 (兼務)	2名 (兼務)
中和保健所	食品衛生課 生活衛生課	食品衛生係 監視指導係 獣疫生活衛生係	22名 (内14名兼務)	11名 (兼務)	11名 (兼務)
吉野保健所	衛生課	食品・獣疫生活 衛生係	5名 (内5名兼務)	2名 (兼務)	2名 (兼務)
内吉野保健所	地域生活課	地域生活係	4名 (内4名兼務)	1名 (兼務)	1名 (兼務)
保健所			41名 (内28名兼務)	16名 (兼務)	16名 (兼務)
食品衛生検査所	市場 食品検査課	市場食品検査係	4名 (内1名兼務)	0名	0名
	食肉検査課	第一係 第二係	9名 (兼務)	9名 (兼務)	9名 (兼務)

表2 食品に係る試験検査体制の状況

実施機関	担当課等	試験検査の実施内容
保健研究センター	食品化学チーム 生活化学チーム	食品添加物、残留農薬・動物用医薬品等の理化学検査等
	ウイルス・疫学情報チーム 細菌チーム	ウイルス、食中毒菌等の微生物検査等
	食品衛生検査所	食肉検査課 市場食品検査課

表3 各保健所別監視指導対象施設の状況

実施機関	食品衛生法関係	施設数	食鳥処理法関係	施設数
郡山保健所	許可	4,745	(内小規模認定)	5
	届出	4,650		(5)
中和保健所	許可	8,225	(内小規模認定)	13
	届出	9,810		(13)
吉野保健所	許可	1,204	(内小規模認定)	2
	届出	2,103		(2)
内吉野保健所	許可	822	(内小規模認定)	2
	届出	1,208		(2)
合計	許可	14,996	(内小規模認定)	22
	届出	17,771		(22)

(ただし、休止施設を除く)

2 監視指導結果について

(1) 食品等事業者に対する監視指導の実施状況

食品衛生法第30条第2項の規定に基づき表3の対象施設（許可施設：14, 996施設、届出施設：17, 771施設）に対する立入検査の実施状況は、表4-1及び表4-2のとおりです。

表4-1 許可を要する施設に対する監視指導の状況

業 種		監視回数(回/年) A	施設 B	監視数 C	監視率 [※] C/(A×B)×100
法違反等行政処分施設	平成25・26年度における食中毒発生施設	2.0	6	15	125.0
	平成26年度に行政処分を受けた施設	2.0	4	9	112.5
従業員30名以上の大規模広域流通食品製造・加工施設		2.0	47	108	114.9
生食用食肉を加工・調理する施設		2.0	0	0	-
ふぐを処理する施設		1.0	141	70	49.6
許 可 を 要 す る も の	一般食堂・レストラン等	0.5	3,727	1,613	86.6
	〃 (1回300食以上又は1日750食以上)	2.0	50	46	46.0
	仕出し屋・弁当屋	1.0	779	601	77.2
	〃 (1回300食以上又は1日750食以上)	2.0	25	45	90.0
	旅館・ホテル	1.0	236	247	104.7
	〃 (1回300食以上又は1日750食以上)	2.0	5	16	160.0
	簡易宿所	0.5	121	68	112.4
	その他	適宜	2,829	951	168.1
	《簡易》飲食店営業	適宜	1,097	148	67.5
	菓子（パンを含む）製造業	1.0	1,197	720	60.2
	菓子（パンを含む）製造業（小分け包装のみの製造に限る）	適宜	7	2	142.9
	《簡易》菓子製造業	適宜	87	9	51.7
	乳処理業	1.0	1	3	300.0
	特別牛乳さく取処理業	0.5	0	0	-
	乳製品製造業	1.0	3	7	233.3
	集乳業	0.5	0	0	-
	魚介類販売業	0.5	683	878	257.1
	〃 (調理加工を行わない魚介類の販売に限る)	適宜	193	109	282.4
	魚介類せり売り営業	2.0	2	134	3,350.0
	魚肉ねり製品製造業	1.0	7	7	100.0
	食品の冷凍又は冷蔵業	1.0	35	68	194.3
	缶詰又は瓶詰食品製造業	1.0	45	42	93.3
	喫茶店営業	0.5	82	34	82.9
	《簡易》喫茶店営業（自動販売機を除く）	0.5	38	8	42.1
	〃 (自動販売機)	適宜	324	109	168.2
	あん類製造業	1.0	6	7	116.7
	アイスクリーム類製造業	1.0	71	75	105.6
	〃 (HACCP施設)	2.0	1	1	50.0
	乳類販売業	0.5	1,507	688	91.3
	食肉処理業	1.0	58	36	62.1
	食肉販売業	0.5	683	578	169.3
	〃 (調理加工を行わない包装食肉のみの販売に限る)	適宜	272	135	248.2
	食肉製品製造業	1.0	12	23	191.7
乳酸菌飲料製造業	1.0	0	0	-	
食用油脂製造業	1.0	1	1	100.0	
マーガリン又はショートニング製造業	1.0	0	0	-	
みそ製造業	1.0	53	31	58.5	
醤油製造業	1.0	19	25	131.6	
ソース類製造業	1.0	13	10	76.9	
酒類製造業	0.5	35	13	74.3	
豆腐製造業	1.0	68	73	107.4	
納豆製造業	0.5	0	0	-	
めん類製造業	1.0	131	56	42.7	
〃 (小分け包装のみの製造に限る)	適宜	22	9	204.5	
そうざい製造業	1.0	222	278	125.2	
添加物（法第11条第1項）製造業	1.0	16	13	81.3	
食品の放射線照射業	0.5	0	0	-	
清涼飲料水製造業	1.0	34	35	102.9	
冰雪製造業	適宜	2	0	0.0	
冰雪販売業	適宜	9	7	388.9	
移 動 業 種	飲食店	適宜	86	8	46.5
	菓子製造業	適宜	21	1	23.8
	魚介類販売業	適宜	43	10	116.3
	喫茶店営業	0.5	5	2	80.0
	乳類販売業	0.5	12	4	66.7
	食肉販売業	適宜	20	7	175.0
	アイスクリーム製造業	1.0	1	0	0.0
計			14,996	7,991	104.8

※監視回数が適宜の業種については、便宜上0.2回/年で監視率の算出をしています。

表4-2 許可を要しない施設に対する監視指導の状況

業種		監視回数(回/年)	施設 B	監視数 C	監視率 ^(%)	
		A			C/(A×B)×100	
許可を要しないもの	給食施設	学校	0.5	101	1	2.0
		〃 (1回300食以上又は1日750食以上)	1.0	40	23	57.5
		病院・診療所	0.5	72	19	52.8
		〃 (1回300食以上又は1日750食以上)	1.0	12	6	50.0
		事業所	0.5	105	10	19.0
		〃 (1回300食以上又は1日750食以上)	1.0	2	0	0.0
		社会福祉施設	0.5	420	35	16.7
	その他	0.5	317	184	116.1	
	乳搾取業	適宜	48	7	72.9	
	GPセンター	0.5	6	5	166.7	
	食品製造業	適宜	1,387	298	107.4	
	野菜果物販売業	適宜	2,564	677	132.0	
	そうざい販売業	適宜	1,306	405	155.1	
	菓子(パンを含む)販売業	適宜	4,047	541	66.8	
	食品販売業(上記以外)	適宜	6,644	874	65.8	
	添加物(法第11条第1項を除く)の製造業	適宜	5	1	100.0	
	添加物の販売業	適宜	184	20	54.3	
	冰雪採取業	適宜	0	0	-	
	器具・容器包装・おもちゃの製造・販売業	適宜	511	96	93.9	
	計			17,771	3,202	82.0

※監視回数が適宜の業種については、便宜上0.2回/年で監視率の算出をしています。

- (2) と畜検査の実施状況
と畜場法第14条の規定に基づく獣畜のとさつ又は解体の検査の実施状況は、表5のとおりです。

表5 と畜検査の実施状況

獣畜の種類	牛			とく ※	馬	豚	めん羊	山羊	合計
	肉用	乳用	小計						
検査頭数	2,018	481	2,499	3	23	9,013	0	0	11,538
処分頭数	とさつ・解体禁止			0	0	0	0	0	0
	全部廃棄			20	0	15	0	0	35
	一部廃棄			1,991	3	20	8,520	0	0

※「とく」: 1歳未満の仔牛

- (3) BSE・TSEスクリーニング検査の実施状況
牛海綿状脳症対策特別措置法第7条及びと畜場法第14条の規定に基づくと畜場における牛海綿状脳症(BSE)・伝達性海綿状脳症(TSE)スクリーニング検査の実施状況は、表6-1及び表6-2のとおりです。

表6-1 牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査の実施状況

区分	法定検査
牛の月齢	48か月齢超
検査頭数	384
陽性頭数	0
陰性頭数	384

表6-2 伝達性海綿状脳症(TSE)スクリーニング検査の実施状況

獣畜の種類	めん羊	山羊	合計
検査頭数	0	0	0
陽性頭数	0	0	0
陰性頭数	0	0	0

(4) 食品等の収去検査の実施状況

食品衛生法第28条の規定に基づき実施した収去検査の実施状況については、表7-1、表7-2のとおりです。

表7-1 収去検査の実施状況(検査種類別)

検査の種類	対象食品	検体数 (延数)	違反検体数	
			食品衛生法の成分規格、使用基準等	衛生規範、指導基準、その他
理化学検査	漬物、肉類・食肉製品、魚介類、清涼飲料水、氷菓・アイスクリム、乳及び乳製品、豆腐類、生あん、食品添加物・調味料・みそ、青果類、輸入食品	83	0	1 (豆腐類)
微生物検査	弁当・そうざい、漬物、肉類・食肉製品、魚介類、清涼飲料水、冷凍食品、氷菓・アイスクリム、乳及び乳製品、豆腐類、生めん類、菓子及び生あん、食品添加物・調味料・みそ、青果類、野菜・果実加工品、卵	462	0	31 (弁当・そうざい、肉類・食肉製品、豆腐類、めん類、菓子及び生あん)
残留農薬検査	肉類、青果類、輸入食品、卵	105	0	—
食物アレルギー検査	加工食品	8	0	—
遺伝子組換え食品検査	豆腐類	9	0	—
放射性物質検査	青果類、乳	49	0	—
県内農産物の残留農薬モニタリング検査	県内青果類	125	0	—

表 7-2 収去検査の実施状況（食品等分類別）

食品等分類	予定数	検査区分	保健所収去				市場収去			
			検 体	不適検体	項 目	不適項目	検 体	不適検体	項 目	不適項目
弁当・そうざい等 (給食施設の提供食品含む)	196	使用基準	151	12	0	0	31	0	0	0
		県指導基準			453	13			93	0
		その他			16	0			60	0
漬物	11	使用基準	8	0	2	0	4	0	16	0
		衛生規範			12	0			0	0
		その他			0	0			16	0
食鳥肉・食肉製品等	12	成分規格	8	3	38	0	3	0	0	0
		使用基準			0	0			0	0
		その他			9	4			15	0
魚介類等	110	成分規格	5	0	5	0	116	0	60	0
		使用基準			0	0			16	0
		暫定的規制値			0	0			8	0
		その他			5	0			498	0
清涼飲料水	10	成分規格	10	0	50	0	0	0	0	0
		使用基準			9	0			0	0
氷菓・アイスクリーム類等	5	成分規格	5	0	12	0	0	0	0	0
		その他			4	0			0	0
乳及び乳製品	3	成分規格	3	0	12	0	0	0	0	0
		使用基準			0	0			0	0
豆腐類	32	県指導基準	26	4	38	6	6	1	12	1
		その他			0	0			12	0
冷凍食品	6	成分規格	6	0	12	0	0	0	0	0
		その他			0	0			0	0
めん類	24	成分規格	7	0	0	0	13	1	0	0
		使用基準			0	0			0	0
		衛生規範			21	0			39	1
		その他			0	0			10	0
菓子類	61	成分規格	52	11	1	0	1	0	0	0
		使用基準			0	0			0	0
		衛生規範			69	10			0	0
		指導要領			4	0			0	0
		県指導基準			78	3			3	0
		その他			0	0			1	0
青果類	86	成分規格	29	0	3,364	0	54	0	6,264	0
		使用基準			0	0			8	0
野菜・果実加工品	10	成分規格	4	0	0	0	2	0	0	0
		使用基準			0	0			0	0
		県指導基準			12	0			6	0
		その他			24	0			2	0
卵（液卵を含む）	14	成分規格	10	0	30	0	9	0	3	0
		指導要領			5	0			3	0
		その他			15	0			39	0
食品添加物・調味料・みそ等	14	成分規格	12	0	0	0	1	0	0	0
		使用基準			61	0			0	0
		その他			0	0			5	0
輸入食品	21	成分規格	20	0	760	0	0	0	0	0
		使用基準			3	0			0	0
		その他			2	0			0	0
アレルギー物質	8	その他	8	0	8	0	0	0	0	0
遺伝子組換え食品	10	その他	9	0	9	0	0	0	0	0
放射性物質	51	成分規格	31	0	62	0	18	0	36	0
その他	8	成分規格	5	0	4	0	0	0	0	0
		その他			9	0			0	0
ふきとり検査(設備器具等)	225	その他	0	0	0	0	234	0	934	0
合 計	917		409	30	5,218	36	492	2	8,159	2

(検査区分)

成分規格と使用基準：食品衛生法第11条により、厚生労働大臣により定められたもの。成分規格と使用基準について、合わないものを販売等してはならないとされている。

規格基準：規格基準型の保健機能食品である栄養機能食品がその規格を満たしているかの検査。

※以上が適合しない場合は、法違反となります。

暫定的規制値：食品衛生法には、成分規格等定められていないが、通知等により規制値を定められている項目。(食品中のPCB、魚介類の水銀)

衛生規範、指導要領：食品衛生法には、成分規格等定められていない食品について、製品の要件として通知されている項目。

県指導要領：食品衛生法には基準のない食品について、奈良県独自で「食品衛生法で規格基準のない食品等の指導要領」を定め、指導している項目。(衛生規範で通知されているものを、県独自に基準を厳しく設定しているものもある。)

その他：上記に定められた項目以外にも検査を行い、業者指導の一つとしている。

(5) 農産物等モニタリング検査について

奈良県産の農産物等を対象として残留有害物質モニタリング検査の実施状況については、表8のとおりです。

表8 農産物等モニタリング検査の実施状況

食品等分類		検査区分	検体	不適検体	項目	不適項目
核果果実	梅	成分規格 (残留農薬)	5	0	580	0
ベリー類果実	いちご		15	0	1,740	0
	ブルーベリー		1	0	116	0
その他の果実	柿		18	0	2,088	0
	いちじく、ぶどう等		3	0	348	0
あぶらな科野菜	大和まな		3	0	348	0
	キャベツ、だいこん、こまつな、みずな、はくさい、チンゲンサイ等		29	0	3,364	0
うり科野菜	きゅうり、かぼちゃ、うり等		7	0	812	0
なす科野菜	なす、トマト、ピーマン等		18	0	2,088	0
ゆり科野菜	結崎ネブカ		1	0	116	0
	ねぎ、たまねぎ等		5	0	580	0
その他の野菜	とうもろこし、ほうれんそう、おくら、モロヘイヤ等		12	0	1,392	0
いも等	じゃがいも、さつまいも、さといも等		8	0	928	0
計			125	0	14,500	0

116農薬について、一斉分析を行った。

(6) 不良食品の発生状況について

食品衛生法第6条、第11条、第19条及び第20条の規定による不良食品の発生状況については、表9のとおりです。

表9 不良食品の発生状況

食品分類等	第6条				第11条				第19条	第20条	表示違反	その他	計
	腐敗 変敗	有毒 有害	微生物	異物 混入	成分 規格	製造 基準	保存 基準	添加 物 使用	表示 違反	虚偽誇大 広告・表示	健康増進 法・食品 表示法	有症 苦情 等	
食品	1 菓子類			1	8				2		2	4	17
	2 乳及び乳製品				2								2
	3 食肉及び食肉製品				1								1
	4 魚介類及びその加工品	1		1	2						1		5
	5 冷凍食品												0
	6 清涼飲料水	1			1								2
	7 調味料類			1									1
	8 豆腐及びその加工品												0
	9 めん類				3				1		1		5
	10 惣菜及びその半製品		1		6	1						2	10
	11 漬物												0
	12 鯨肉製品												0
	13 弁当				3								3
	14 果実・野菜及び茶				2								2
	15 その他の製品	1	2	1	9							1	14
食品添加物及びその製剤													0
器具及び容器包装													0
合計	3	3	4	37	1	0	0	0	3	0	4	7	62

(7) 一斉取締りの実施について

ア 厚生労働省が示す方針を踏まえて行った、食品、添加物の食品一斉取締り（夏期、年末）として、施設に対する監視、食品の検査を行いました。結果については表10のとおりです。

		夏期	年末
許可施設	平成27年度末現在施設数	14,996	
	立入検査延べ施設数	1,792	627
	施設基準違反	0	0
	管理運営基準違反	69	66
	製造基準違反	0	0
	表示違反	22	5
届出施設	平成27年度末現在施設数	17,771	
	立入検査延べ施設数	407	531
	施設不備	0	0
	食品取扱不良	1	1
	表示違反	0	0
食品の検査	検査件数	172	77
	腐敗・変敗等	0	0
	成分規格違反	0	0
	表示違反	0	0
	要領等に基づく違反	11	1

イ 奈良県下4カ所の保健所（中和、郡山、吉野、内吉野）の食品衛生監視員により、観光地を中心に食品衛生許可施設380施設、届出施設73施設に対して立ち入り調査を行いました。結果については表11のとおりです。

	許可施設への立入数	届出施設への立入数	施設指導件数	表示違反発見数
4月	50	20	0	0
5月	84	3	1	0
6月	57	4	0	0
7月	59	11	0	0
8月	0	0	0	0
9月	86	8	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	44	27	0	0
3月	0	0	0	0
	380	73	1	0

3 食中毒の発生状況について

平成27年度の県内（奈良市を含む）食中毒発生状況の概要は、表12のとおりです。また、食中毒関連調査として実施した細菌・ウイルス検査の実施状況は、表13のとおりです。

表12 食中毒の発生状況

No.	発生日	保健所	原因施設	概食数	患者数	原因物質	事後措置
1	4/4	奈良市	飲食店	23	16	ノロウイルス	2日間営業停止
2	4/12	奈良市	飲食店	8	4	カンピロバクター	2日間営業停止
3	5/5	中和	飲食店	71	21	グレア・セプトンクター	
4	8/26	吉野	飲食店	8	3	セレウス菌	2日間業務停止
5	9/22	中和	飲食店	13	4	腸管出血性大腸菌O157	3日間営業停止
6	1/16	中和	給食施設	214	27	ノロウイルス	3日間営業停止
7	1/16	中和	家庭	2	2	動物性自然毒	
8	1/25	中和	飲食店	9	5	ノロウイルス	3日間営業停止
9	2/2	中和	飲食店3施設	612	65	ヒスタミン	2日間営業停止又は3日間営業停止
合計 9件（県：7件、奈良市：2件）				960	147		

表 1 3 食中毒関連調査における細菌・ウイルス検査の実施状況

月	検体数				検体数 合計	検査 項目数	食中毒原因菌等
	郡山 ^{HC}	中和 ^{HC}	吉野 ^{HC}	内吉野 ^{HC}			
4月	0	13	10	12	35	213	ノロウイルス
5月	22	10	59	0	91	250	サルモネラ属菌、ノロウイルス
6月	2	0	0	0	2	20	検出せず
7月	4	6	22	0	32	183	カンピロバクター、ノロウイルス
8月	0	0	9	0	9	28	セレウス菌
9月	1	1	0	0	2	19	腸管毒素原性大腸菌O159
10月	1	4	0	0	5	34	黄色ブドウ球菌、ノロウイルス
11月	4	2	0	0	6	36	ノロウイルス
12月	0	0	0	0	0	0	
1月	5	54	10	0	69	186	カンピロバクター、ノロウイルス
2月	1	2	0	0	3	14	カンピロバクター、ノロウイルス
3月	6	10	0	0	16	95	カンピロバクター、ノロウイルス、 クア・セブテンブクター
合計	46	102	110	12	270	1,078	

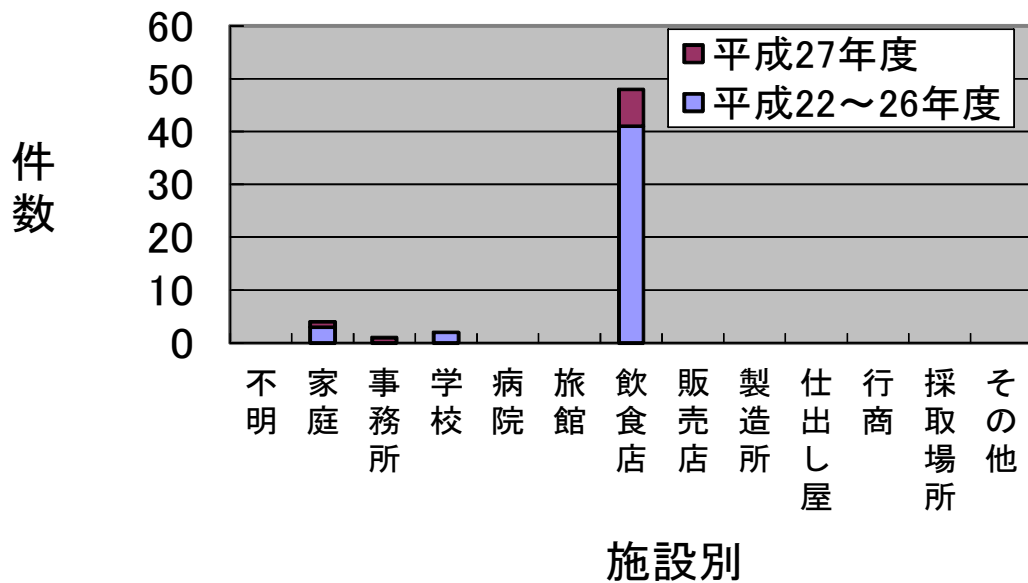
※食品、拭き取り及び検便等を含む。また、県外からの調査依頼分を含む。

(参考)

食中毒（施設別）の発生状況（過去5年及び27年度）

施設	不明	家庭	事務所	学校	病院	旅館	飲食店	販売店	製造所	仕出し屋	行商	採取場所	その他	合計
平成22～26年度	0	3	0	2	0	0	41	0	0	0	0	0	0	46
平成27年度	0	1	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	9

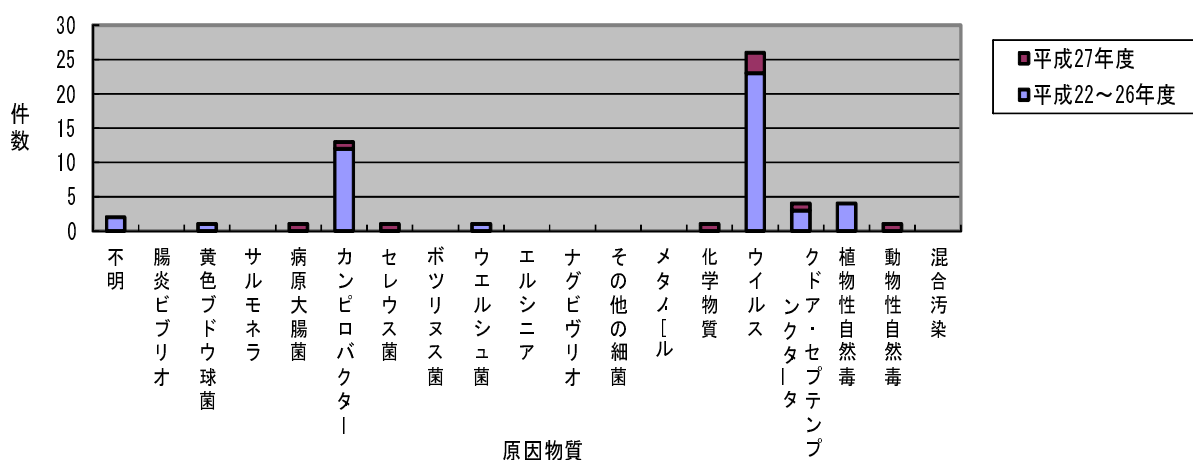
※奈良市を含む



食中毒（原因物質別）の発生状況（過去5年及び27年度）

原因	不明	腸炎ビブリオ	黄色ブドウ球菌	サルモネラ	病原大腸菌	カンピロバクター	セレウス菌	ボツリヌス菌	ウエルシユ菌	エルシニア	ナグビヴリオ	その他の細菌	メタノール	化学物質	ウイルス	クドア・セブテンブク タータ	植物性自然毒	動物性自然毒	混合汚染	合計
平成22～26年度	2	0	1	0	0	12	0	0	1	0	0	0	0	0	23	3	4	0	0	46
平成27年度	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	1	0	9

※奈良市を含む



4 食品衛生に係る講習会等の開催状況について

食品衛生法第3条第1項において、食品等事業者自らが、販売食品等の安全性の確保に係る知識及び技術の習得等が求められていることを踏まえ、各保健所が実施した各種講習会の開催状況については、表14のとおりです。また、食品衛生責任者の養成状況については、表14のとおりです。

表14 食品衛生に係る講習会の開催状況

講習内容	対象者別	開催数	参加人数
①食中毒の予防対策について ②食品衛生について ③食品表示について ④食品添加物について ⑤健康食品について ⑥食の安全・安心について ⑦衛生課の業務等について ⑧食品衛生責任者講習会	消費者	1	15
	事業者・給食関係者等	58	3,149
	学 生	17	716
合 計		76	3,880

表 1 5 食品衛生責任者の養成状況（認定者含む。）

実施管内	受講者数	延べ受講者数	認証者数	延べ認証者数
	H27. 4. 1～H28. 3. 31		H27. 4. 1～H28. 3. 31	
郡山保健所管内	365	9,349	21	1,617
中和保健所管内	509	21,104	18	2,455
吉野保健所管内	43	2,332	1	267
内吉野保健所管内	0	1,590	14	224
奈良市保健所管内	246	17,009	18	2,213
合 計	1,163	51,384	72	6,776

5 食品関連の相談状況について

奈良県消費生活センター、消費生活センター中中和相談所及び各保健所の食の安全相談窓口に寄せられた食品関連の相談状況は、表 1 6 - 1 のとおりで食品分類別状況は、表 1 6 - 2 のとおりです。

表 1 6 - 1 食品関連の相談状況

年 月	消費生活センター及び 中中和相談所	各保健所の 食の安全相談窓口
平成27年 4月	23件	17件
平成27年 5月	17件	16件
平成27年 6月	18件	16件
平成27年 7月	35件	18件
平成27年 8月	21件	14件
平成27年 9月	20件	9件
平成27年 10月	20件	15件
平成27年 11月	19件	24件
平成27年 12月	17件	16件
平成28年 1月	21件	18件
平成28年 2月	19件	23件
平成28年 3月	37件	24件
計	267件	210件
合計	477件	

表 1 6 - 2 食品分類別相談状況

分類コード	食品分類	相談件数	分類コード	食品分類	相談件数
B 10	食料品一般	69	B 32	菓子類	25
B 21	穀類	12	B 33	飲料	29
B 22	魚介類	23	B 34	酒類	5
B 23	肉類	29	B 40	調理食品	17
B 24	乳卵類	19	B 51	健康食品	155
B 25	野菜・海草	19	B 52	食料品その他	15
B 26	油脂・調味料	10	その他		35
B 31	果物	15	合 計 (件 数)		477

6 表彰の実施状況について

衛生管理状況が一定水準以上である優良な施設等について、各保健所が実施した表彰の実績は、表 17 のとおりです。

表 17 表彰の実施状況

表彰区分		表彰実績（保健所管轄別）					計
		郡山	中和	吉野	内吉野	奈良市	
厚生労働大臣表彰	食品衛生優良施設	1					1
	食品衛生功労		2	1			3
	調理師関係功労					2	2
知事表彰	食品衛生優良施設	1	3				4
	食品衛生功労	3	7	3	1	2	16
	調理師関係功労		2				2
合 計		5	14	4	1	4	28

7 食品衛生指導員による食品衛生巡回指導実施状況について

公益社団法人奈良県食品衛生協会の事業として実施した食品衛生指導員による自主的衛生管理の向上を目的とした巡回指導及び助言指導の実施状況は、表 18 のとおりです。

表 18 食品衛生指導員の巡回指導実施状況

管 内		郡 山 保 健 所	中 和 保 健 所	吉 野 保 健 所	内吉野 保 健 所	奈良市 保 健 所	計
平成 27 年 度	食品衛生指導員数	139	165	61	39	38	442
	活動食品衛生指導員数	129	158	61	38	37	423
	活動延日数	1,818	3,639	1,605	941	466	8,649
	指導施設数	8,105	9,263	4,533	2,837	1,700	26,438